

広報

# あかいけ

# 9



## 夜空を見上げた思い出の夏…

町民ふれあい盆踊り  
 八月十七日 町民会館前広場

### MELODY 旋律

数々のドラマを生むオリンピック会場。そこには、選手たちを見守るかのように五輪の旗が掲げられています

▼青・黄・黒・緑・赤の五つの輪は、アジア・アメリカ・アフリカ・ヨーロッパ・オーストラリアと、世界の五つの大陸を表し、たがいに重なり合って一つに結ばれています。「スポーツを通して世界の人々が一つになれば…」五輪の旗は『世界平和』という近代オリンピックの創始者クーベルタンの意志を象徴しているのです▼「オリンピックで重要なことは勝つことではなく参加することである」オリンピックの理想とされる言葉はシドニーでも受け継がれ、今回過去最多の二百の国々が参加します▼オリンピックが国威高揚やメダルの奪い合いだけの場とならないように、わたしたちは、メダルの数よりも大切なオリンピック精神の原点を子どもたちに伝え『世界平和』という理想の火を燃やし続けなければなりません。

# 祝 成人式

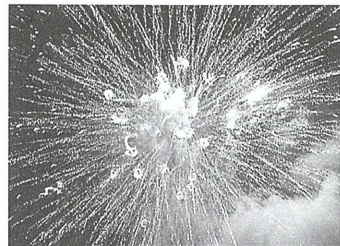
輝かしい未来と無限の可能性を秘めた君たちに、「心から」「おめでとう」の一言を贈りたい。

「夏の日の思い出」～ふれあい盆踊り&成人式～

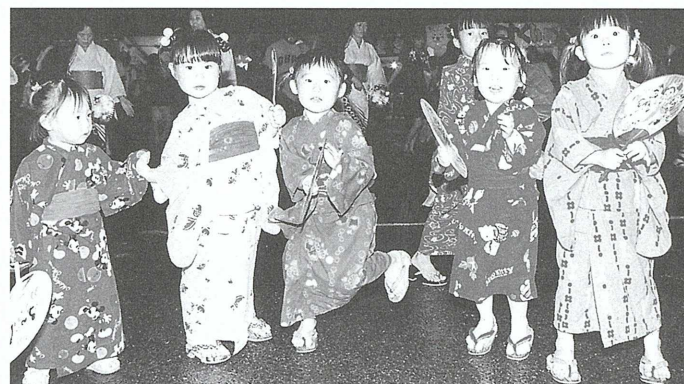
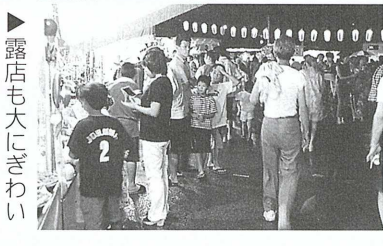
## ふれあい盆踊り



▲雨足が強まり一時中断です



▲花火に見とれてしまいました



▼雨もあがった！さあ踊ろう…くどきの声と太鼓の音が流れ出す



▼花火のラストを飾った大玉！降ってきそうなくらい圧巻でした



叩く太鼓にくどきの声…『粹』と『いなせ』がひと踊り

あかひけの夜空を華麗に彩る…まばゆい光の花たちが二千人を魅了。

町民ふれあい盆踊りが八月十七日に町民会館前広場で開催されました。ドーンドーン。開催の合図に「待ってました」とばかりに集まる人たち。しかし、見上げれば今にも雨が落ちてきそうな曇り空。やがて、暗

くなるバラバラと雨が落ちてきました。まずは、炭坑節を全体でひと踊り。その後は地区の踊りが披露されます。九支所の踊りが中盤にさしかかった頃雨足が強まり、本降りになってしまいました。

踊りは一時中断。町民会館で一〇分ほど雨をしのぎましたが雨足は弱まりません。「もしかして中止？」そんな声も聞かれましたが、八区の踊りが披露されると徐々に雨はあがっていききました。予定どおりに花火が打ち上げられ、夜空を彩るまばゆい光の花たちが観客を魅了しました。夏の風物詩の終わりが、新たな季節の訪れを静かに告げているようでした。

## 成人式

なつかしいあの人に会えました。輝く笑顔で二一六人が参加。



▶中学時代の思い出話



▶力強い成人者宣誓

赤池町成人式が八月十三日に同和対策中央研修所で開催されました。今年の該当者は、昭和五十五年四月二日から昭和五十六年四月一日に生まれた一八〇人（男性九十三・女性八十七人）で、この日式典に参加したのは一六六人。水永町長や多くの来賓の方々から激励の言葉を受け

「二十一世紀を担う若者として自覚し、社会の期待する人間となるよう努力します」と内田光祐くん（車道）が、力強く宣誓しました。記念講演は「あの頃、そして今…」をテーマに、中学三年の頃の担任、中川智晴先生と田中真由子先生（旧姓佐竹）によるなつかしい思い出話に花が咲いていました。参加者の服装は、男性はほとんどスーツ。女性はスーツ

を中心に、丈の短いゆかたやチャイナドレスなども見られました。年々ゆかた姿での参加が増えているようです。式典の会場は、新成人の意識の高さを思わせる静粛な雰囲気にも包まれていました。式のしめくくりは、恒例の『二〇歳の飛行船』。一六六人の参加者は、ぬけるような青空に舞い上がっていく、色とりどりの風船をいつまでも見つめていました。

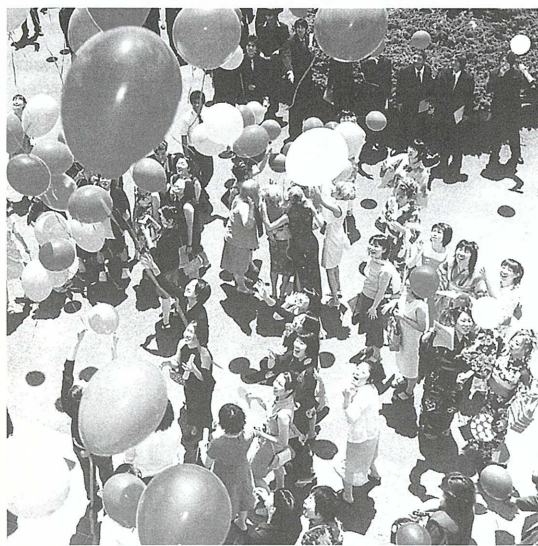


▲たくさんのハタチの笑顔はキラキラと輝いていました



▶噂のミニゆかたです！

▲先生お久しぶり元気でした？



卒業して五年経った今でも 友情はあの日のままでした…